

- 問1 中部地方の各県の農業産出額を比較した資料において、野菜と果実の産出額がともに他県を大きく上回っている長野県の農業の特色について、その背景を説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 標高の高い地域の涼しい気候を活かした抑制栽培を行い、レタスなどの野菜を都市部が品薄になる時期に出荷している。 | 2. 三大都市圏に近い立地条件を活かして、収益性の高いキャベツの生産や、電照菊などの花きの栽培を大規模に行っている。 | 3. 黒潮の影響を受ける温暖な気候を活かした促成栽培を行い、冬でもピーマンやなすなどの野菜を生産している。 | 4. 平坦な広大な土地と豊富な水資源を活かし、機械化による大規模な稲作を主体とすることで、米の産出額を伸ばしている。 |
|---|--|---|--|
- 問2 富山県にある黒部ダム の東側に位置し、富山・岐阜・長野・新潟の各県にまたがって南北に伸びる山脈があります。通称「北アルプス」とも呼ばれ、標高3000メートル級の山々が連なるこの山脈の名称として正しいものを選んでください。 (2017年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 飛騨山脈 | 2. 木曽山脈 | 3. 日高山脈 | 4. 赤石山脈 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問3 昭和22年の地形図ではJR富山港線の沿線東側に広大な水田が広がっていましたが、平成23年の地形図では同じ場所が建物の密集を示す住宅地に変わっています。このような、都市の成長に伴って郊外の土地利用が変化する現象について、富山市の事例における変化として正しいものはどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 林業の衰退により、山林だった場所が民間の住宅メーカーによって住宅地へと変化した。 | 2. 県庁や市役所などの行政機関を移転させるために、広大な畑が公的な住宅地へと変化した。 | 3. 食料生産の基盤であった水田が、人口増加や都市化の影響で大規模な住宅地へと変化した。 | 4. 海外からの農産物輸入の増加に対応するため、水田がすべて果樹園や商業施設へと変化した。 |
|---|--|--|---|
- 問4 日本の国宝天守を持つ5つの城の所在地をまとめた資料において、滋賀県の彦根城や兵庫県の姫路城は「近畿地方」、島根県の松江城は「中国・四国地方」に分類されています。このとき、同じ資料内で長野県の松本城や愛知県の犬山城が分類される、本州中央部に位置する地方名を選びなさい。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 近畿地方 | 2. 東北地方 | 3. 中部地方 | 4. 関東地方 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問5 静岡県の産業構造に関する説明として、統計資料から読み取れる内容と合致するものはどれですか。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 製造品出荷額等が約17兆円と非常に大きく、海上や航空による貨物輸送量も他県と比較して顕著に多い。 | 2. 製造業よりも畜産業の割合が高く、製造品出荷額は他県に比べて小規模である。 | 3. 農業産出額において米の割合が最も高く、工業製品の出荷額を上回っている。 | 4. 野菜の産出額は全国有数だが、大規模な港湾を持たないため海上貨物輸送量は極めて少ない。 |
|---|---|--|---|
- 問6 日本国内には、ブラジルなどの南米諸国にルーツを持つ人々が多く居住している地域があります。これらの地域で南米出身の外国人人口が増加した制度的背景として、最も適切な説明を次の中から選びなさい。 (2022年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 1990年の入管法改正により、日系人に対し就労制限のない在留資格が認められるようになったから。 | 2. 高度経済成長期の深刻な労働力不足を解消するため、政府が南米諸国と二国間の労働者派遣協定を結んだから。 | 3. 戦後直後の食糧難を解決するため、南米へ移住した人々が農業技術を持って一斉に帰国する政策がとられたから。 | 4. 2000年代以降の経済連携協定（EPA）に基づき、製造業における単純労働者の受け入れが自由化されたから。 |
|--|---|--|---|
- 問7 中部地方の中央部には、標高3000メートル前後の険しい山々が連なり、「日本の屋根」とも称される広大な山岳地帯があります。この地域を構成する飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈の3つの山脈を合わせた総称として正しいものはどれですか。 (2024年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|---------|---------|
| 1. 日本アルプス | 2. 中国山地 | 3. 越後山脈 | 4. 奥羽山脈 |
|-----------|---------|---------|---------|
- 問8 日本アルプスを構成する3つの山脈について、北から順に正しく並んでいる組み合わせを選びなさい。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 飛騨山脈、赤石山脈、木曽山脈 | 2. 木曽山脈、飛騨山脈、赤石山脈 | 3. 飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈 | 4. 赤石山脈、木曽山脈、飛騨山脈 |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
- 問9 山梨県の上野原市付近は、桂川（相模川）沿いに形成された河岸段丘が見られる地域です。この地域の地形図において、道路の北側に崖がそびえ、南側を鉄道の線路が並行して走っているような土地利用が見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 鉄道の脱線を防ぐため、風よけとして北側に人工的な高い壁を建設することが法律で定められているから。 | 2. 洪水の被害を避けるために、あえて居住地や道路を山の頂上付近に集中させているから。 | 3. 広大な平野部において、最短距離で都市間を結ぶために周囲の地形に関わらず直線的に線路を敷いたから。 | 4. 山地と河川に挟まれた平坦な土地が非常に限られているため、主要な交通路が密集せざるを得ないから。 |
|---|---|---|--|
- 問10 長野県などの高冷地では、レタスの収穫時期をあえて6月から10月の夏季に集中させています。平地の収穫量が減少するこの時期に出荷時期をずらす最大の目的として、最も適切な説明はどれか、選びなさい。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 化学肥料の使用を抑えた環境に優しい農法をアピールするため | 2. 他の産地との競争を避け、需要が高まる時期に高い価格で販売するため | 3. 大都市に近い利点を活かし、輸送コストを抑えて新鮮なうちに届けるため | 4. 冬の積雪による農作業の停止を防ぎ、年間通じて安定した収入を得るため |
|---------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
- 問11 静岡県の牧之原台地において、大規模な茶の栽培が行われている理由について述べた文として、地形的特徴と関連付けて説明しているものはどれですか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|--|--|
| 1. 海岸近くの砂丘地帯で、地下水の汲み上げによるスプリンクラー設備が整っているため | 2. 山に囲まれた平坦な地形で、夏に高温になりやすく、日照時間が長いため | 3. 周囲より一段高い平坦な地形で、水はけが良く、機械による効率的な作業に適しているため | 4. 川が山地から平地に流れ出た場所に土砂が堆積し、傾斜があるものの水はけが良いため |
|--|--------------------------------------|--|--|
- 問12 愛知県を中心とする中京工業地帯の統計において、工業出荷額の54.2%という過半数の割合を占めている、この地域を象徴する製造分野の名称として適切なものはどれですか。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 化学工業 | 2. 金属工業 | 3. 輸送用機械 | 4. 電気機械 |
|---------|---------|----------|---------|
- 問13 新潟県は、農業産出額に占める「米」の割合が非常に高いことで知られていますが、このように特定の作物の生産に特化した大規模な農業が発達した背景として、地域の自然環境について説明したものとして適切なものはどれですか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 冬の積雪が春に豊富な雪解け水となり、広大な平野部で稲作に必要な農業用水を確保しやすいため。 | 2. 冬でも温暖な気候を利用して、米の収穫後に野菜や麦を栽培する二毛作が古くから定着しているため。 | 3. 火山灰が堆積した水はけの良い台地が広がっており、水田を整備するのに適した土壌であるため。 | 4. 年間を通して降水量が極めて少なく、日照時間が非常に長いため、乾燥に強い品種の栽培に適しているため。 |
|--|---|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 標高の高い地域の涼しい気候を活かした抑制栽培を行い、レタスなどの野菜を都市部が品薄になる時期に出荷している。	長野県は中央高地の冷涼な気候や標高差を活かし、夏でも涼しい高原でレタス、キャベツ、はくさいなどの「高原野菜」を育てる抑制栽培が盛んです。また、水はけの良い扇状地や傾斜地では、りんごやぶどう、ももなどの果実栽培も非常に盛んであり、これらの産出額が統計上の大きな特徴となっています。
問2	答え 1 飛騨山脈	中部地方の中央部には標高3000メートルを超える険しい山脈が南北に3つ並んでおり、これらは「日本アルプス」や「日本の屋根」と呼ばれています。そのうち最も北側に位置し、富山県の黒部ダム の東側にそびえるのが飛騨山脈（北アルプス）です。中央に位置するのが木曽山脈（中央アルプス）、南側に位置するのが赤石山脈（南アルプス）です。
問3	答え 3 食料生産の基盤であった水田が、人口増加や都市化の影響で大規模な住宅地へと変化した。	日本の地方都市では、戦後の高度経済成長期から平成にかけて、都市化が周辺部へ波及する現象が見られました。JR富山港線のような鉄道沿線は交通の利便性が高いため、かつての水田が埋め立てられ、急速に宅地化が進みました。これは富山市に限らず、日本の多くの都市郊外で見られる一般的な土地利用の変化の特徴です。
問4	答え 3 中部地方	日本の7地方区分において、長野県や愛知県は本州の中央部に位置する「中部地方」に分類されます。国宝五城のうち、松本城（長野県）と犬山城（愛知県）はこの地方を代表する歴史的建造物です。選択肢にある近畿地方はさらに西側、関東地方は東側に位置します。
問5	答え 1 製造品出荷額等が約17兆円と非常に大きく、海上や航空による貨物輸送量も他県と比較して顕著に多い。	静岡県は工業が極めて盛んな地域であり、製造品出荷額は約17兆円という高い水準にあります。この工業を支える物流面でも、海上や航空による貨物輸送量が他県より多いというデータに表れています。農業面では、米の産出額に対し野菜の産出額が約三倍に達しており、農業と工業の両面で高い生産性を誇っています。
問6	答え 1 1990年の入管法改正により、日系人に対し就労制限のない在留資格が認められるようになったから。	1990年に施行された「出入国管理及び難民認定法（入管法）」の改正が大きな転換点となりました。これにより、日系二世や三世とその家族に対して、日本国内での就労活動に制限がない在留資格が与えられるようになり、自動車産業や電気機器産業が集まる地域を中心に、ブラジルなどからの日系人が急増しました。
問7	答え 1 日本アルプス	中部地方に位置する飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈は、いずれも非常に標高が高く険しい山々であることから、ヨーロッパのアルプス山脈にちなんで「日本アルプス」と呼ばれています。これらは北から飛騨（北アルプス）、木曽（中央アルプス）、赤石（南アルプス）の順に並んでおり、日本の国土を東西に分けるような形でそびえ立っています。
問8	答え 3 飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈	日本アルプスは北から順に、北アルプスと呼ばれる「飛騨山脈」、中央アルプスと呼ばれる「木曽山脈」、南アルプスと呼ばれる「赤石山脈」の3つから構成されています。これらは大規模な地殻変動によって形成された、日本で最も険しい山岳地帯です。
問9	答え 4 山地と河川に挟まれた平坦な土地が非常に限られているため、主要な交通路が密集せざるを得ないから。	上野原市周辺のような中山間地域では、山地や河岸段丘の崖によって、大規模な開発が可能な平坦地が制限されています。そのため、かつての街道や現在の国道、そして鉄道（中央本線）などの交通網は、地形の制約を受けながら、崖と河川の間の狭い空間に集中して配置されるという特徴的な土地利用が見られます。
問10	答え 2 他の産地との競争を避け、需要が高まる時期に高い価格で販売するため	夏の平地は気温が高すぎてレタスなどの生育に適しません。その時期に涼しい高原で栽培して出荷することで、市場に出回る量が少ない「品薄」の状態を狙い、有利な価格で取引することを目的としています。これを「抑制栽培」と呼びます。
問11	答え 3 周囲より一段高い平坦な地形で、水はけが良く、機械による効率的な作業に適しているため	牧之原台地のような平坦な台地は、茶摘み機などの大型機械を導入しやすいため、大規模かつ効率的な農業経営が可能です。また、台地は一般に水が得にくく稲作には向きませんが、茶の栽培には適した水はけの良い土壌条件を備えています。
問12	答え 3 輸送用機械	中京工業地帯は、愛知県、三重県、岐阜県にまたがる日本最大の工業地帯です。特に愛知県の豊田市などを中心とした自動車産業の集積が著しく、工業出荷額の構成比において輸送用機械が半分以上を占めるという、他の工業地帯には見られない際立った特徴を持っています。
問13	答え 1 冬の積雪が春に豊富な雪解け水となり、広大な平野部で稲作に必要な農業用水を確保しやすいため。	新潟県は日本有数の豪雪地帯であり、冬に積もった雪が春の雪解け水となって信濃川などの河川を通じて越後平野へ供給されます。この豊富な水資源と、大河川が運んだ肥沃な土壌からなる広大な平野という条件が揃っているため、古くから米づくりに特化した農業が発展してきました。なお、新潟県は冬の積雪により裏作が困難な「水田単作地帯」となることが多かった点も、米の割合が高い一因です。